# 令 和 3 年 度

# 当 初 予 算 案 の 概 要

がん・疾病対策課精神保健医療グループ

# 令和3年度当初予算<del>案</del>の概要 (がん・疾病対策課精神保健医療グループ)

#### 1 令和3年度当初予算案 令和2年度当初予算 比較表

(単位:千円)

	令和3年度	令和 2 年度 当初予算 B	比較増減額 A-B	増減率 A/B	令和3年度当初予算 財源内訳		
	当初予算額 A				国庫支出金	その他	一般財源
健康医療局	295, 871, 436	202, 403, 809	93, 467, 627	146. 2%	99, 421, 309	11, 366, 441	185, 083, 686
がん・疾病対策課 精神保健医療 G	1, 028, 929	960, 854	68, 075	107. 08%	434, 980	44, 879	549, 070

# 2 事業別予算額 〇 6款 衛生費

(単位: 壬田)

<u>O</u>	り訳(	6款 衛生費					
項	目	事業		細事業	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	差額
公衆	精神保健 福祉費	精神障害者地域生活 支援事業費		精神障害者地域生活支援事業費	760	760	-
衛生			1	措置入院者退院後支援事業費	1, 117	1, 677	△560
費				精神保健福祉普及相談事業費	6, 463	7, 087	△624
		精神保健福祉審議会 等運営費	2	精神保健福祉審議会運営費	7, 914	8, 602	△688
			2	精神科病院実地審査事務費	849	923	△74
		精神障害者措置費	3	精神障害者措置費	220, 272	195, 622	24, 650
		精神障害者医療保護 入院等医療援護費	4	精神障害者医療保護入院等医療援護費	105, 151	114, 295	△9, 144
		こころの健康づくり 推進事業費	5	こころといのちのサポート事業費	4, 244	4, 566	△322
			6	災害派遣精神医療チーム (DPAT) 体制整備事業費	4, 594	6, 393	△1, 799
			7	依存症対策総合支援事業費	15, 670	16, 530	△860
			8	てんかん地域診療連携体制整備事業費	2, 800	2, 800	-
			9	こころといのちを守る対策推進事業費	77, 597	75, 382	2, 215
			10	こころ・つなげよう電話相談事業費	14, 046	14, 306	△260
			11	地域自殺対策強化交付金事業費 補助(市町村)	138, 202	78, 476	59, 726
		精神科救急医療対策 事業費		精神科救急医療診察移送事業費	159, 692	169, 446	△9, 754
			12	精神科救急医療機関運営事業費	171, 164	185, 211	△14, 047
				精神科救急医療相談窓口運営費	37, 730	38, 408	△678
		精神科医療推進費	13	精神科看護職員研修事業費 (医療介護基金)	700	700	-
		旧優生保護法一時金受 付・相談事業費	14	旧優生保護法一時金受付・相談事業費	6, 087	8, 229	△2, 142
		精神保健福祉センター 運営費	_	精神保健福祉センター維持運営費	40, 063	26, 294	13, 769
			15	相談指導等事業費	1, 394	1, 535	△141
		かながわ自殺対策推進 センター事業費	16	かながわ自殺対策推進センター事業費	2, 422	3, 612	△1, 190
		こころの健康づくり感 染症対策費	17	こころの健康づくり感染症対策費	9, 998	-	9, 998
		合		āt	1, 028, 929	960, 854	68, 075

# 3 がん・疾病対策課精神保健医療グループ

問合せ先 電話番号 045-210-4727 7ァクシミリ 045-210-8860

No.	事美	<b>美名</b>	事業内容
1	精神障害者地域 費 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	<ul><li>英生活支援事業</li><li>千円</li><li>8,340</li><li>千円</li><li>9,524</li><li>千円</li><li>△1,184</li></ul>	1 精神障害者地域生活支援事業費 760 千円 精神障害者の社会復帰、社会参加を促進するため、関係機関との連携強化及び専門相談を実施するための人材育成、普及啓発等を行う。  2 措置入院者退院後支援事業費 1,117 千円精神症状により、自傷他害の恐れがあるとされ、措置入院した者が、退院後に地域において、自分らしい生活が送ることができるよう、病院や関係機関と連携し、患者の症状に応じて切れ目ない支援を行う。  3 精神保健福祉普及相談事業費 6,463 千円精神障害者の病状悪化の防止、障害者の自立及び社会復帰を図るため、各保健福祉事務所・センターにおいて地域住民のこころの健康に関しての相談指導等を行う。
2	精神保健福祉審 3年度当初 予算額 2年度当初 予算額 比較増減	議会等運営費 千円 8,763 千円 9,525 千円 △762	1 精神保健福祉審議会運営費 7,914 千円 適正な精神科医療及び患者の人権の確保を図るため、精神保健福祉行政に関する審議及び入院患者の入院の必要性 や処遇の状況等の審査を行う。 (1) 神奈川県精神保健福祉審議会 ア 委員数 15 人 (学識経験者、精神医療関係者、社会復帰事業関係者) イ 開催回数 年2回 (2) 神奈川県精神医療審査会 ア 委員数 15 人 (精神保健指定医、法律家、学識経験者) イ 開催回数 月3回、年1回(合同) 2 精神科病院実地審査事務費 849 千円 患者の人権保護を図るため、入院継続の要否等について 実地審査を行う。

No.	事美	<b>美名</b>	事業内容
3	精神障害者措置費		措置入院患者の適正な医療の確保を図るため、精神障害者
	3年度当初 予算額(案)	千円 220, 272	の措置入院に伴う医療費を公費負担する。
	2年度当初 予算額	千円 195, 622	1 精神障害措置患者医療費 220, 203 千円
	比較増減	千円 +24,650	2 精神障害措置入院患者医療費審查支払事務費 69 千円
4	精神障害者医療療援護費 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	条保護入院等医 千円 105, 151 千円 114, 295 千円 △9, 144	患者及び家族の負担の軽減及び適正医療の確保を図るため、精神疾患で入院している県内在住の医療保護又は任意入院者に対して、その医療費の一部を支給する。  (1) 対象者  患者本人及び患者と同一の世帯に属する世帯員全員の前年分の所得税の合計が87,000円以下の者  (2) 支給額 1人 1ヵ月10,000円
5	こころといのな業費3年度当初予算額(案)2年度当初予算額比較増減	チ円 4,244 千円 4,566 千円 △322	総合的な自殺対策を推進するため、自殺の背景にある様々な社会的な要因について、多角的に検討を行うとともに、各分野の関係機関・団体との連携を図る。  1 こころの健康づくり推進事業費 2,991千円「かながわ自殺対策会議」を設置し、各分野の関係機関・団体の情報交換を行い、連携を深める。また、特定電話相談としてピア相談(精神障害のある当事者が行う相談)や、電話相談員研修を行う。  2 こころといのちの地域医療支援事業費(自殺対策) 1,253千円精神疾患の早期発見、早期対応による自殺予防を図るため、かかりつけの医師等に対する研修会を行う。

No.	事業	<b>笔名</b>	事業内容
6	災害派遣精神医 PAT) 体制整 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減		大規模災害時に専門的な心のケアを円滑に行うため、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の体制整備を行うとともに、技術の向上を図るための研修を行う。
7	依存症対策総合 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	<ul><li>一支援事業費</li><li>千円</li><li>15,670</li><li>千円</li><li>16,530</li><li>千円</li><li>△860</li></ul>	依存症治療、回復支援、相談体制の強化、普及啓発及び医療連携体制の構築を図り、依存症対策を総合的に推進する。
8	てんかん地域診備事業費 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	デース	てんかんの治療及び回復支援の強化を図るため、てんかん 治療を行っている県内の医療機関を「てんかん診療拠点機 関」として指定し、てんかんに関する専門的な相談支援、普 及啓発活動、関係機関への助言指導及び連絡調整を行う。
9	<ul><li>こころといのち</li><li>進事業費</li><li>3年度当初</li><li>予算額(案)</li><li>2年度当初</li><li>予算額</li><li>比較増減</li></ul>	かを守る対策推 千円 77, 597 千円 75, 382 千円 +2, 215	1 こころといのちを守る対策推進事業費 30,816千円 自殺対策の強化を図るため、自殺未遂者支援や他の年 代に比べて自殺者の減少が少ない若年層対策等を総合的 に実施する。 2 ICTを活用したいのちの相談支援体制整備事業 46,781千円 SNSを活用した相談支援体制の整備を行い、悩みを抱 える方がより気軽に相談できる環境を整える。

No.	事業	 【名	事業内容
10	こころ・つなけ	ずよう電話相談	こころの病気かどうかの不安や、生活・仕事に関する悩み 等の相談を受けるため、精神保健福祉センターでフリーダイ
	3年度当初		すい作品を支げるため、精神体展価値とファー Cファークイー     ヤルによる電話相談を実施する。
	3年及当初	14, 046	「ルによる电和作飲を大肥する。
	2年度当初	千円	
	2 一及	14, 306	
	7 77 19	千円	
	比較増減	△260	
11	地域自殺対策強力。	•)	自殺未遂者支援、若年者対策など、地域の実情に応じて市 町村が実施する事業に対して補助する。
	3年度当初	千円	
	予算額(案)	138, 202	
	2年度当初	千円	
	予算額	78, 476	
	比較増減	千円 +59,726	
12	精神科救急医療		精神科救急医療体制を整備し、診察が必要な者に対する医療や保護を迅速かつ的確に実施するため、措置患者等を移送
	3年度当初	千円	するシステムを構築するとともに、休日や夜間の精神科救急
	予算額(案)	368, 586	患者を受け入れる体制の整備等を行う。
	2年度当初	千円	   1 精神科救急医療診察等事業費
	予算額	393, 065	1 精神科救急医療診察等事業費 159,692 千円   - 措置患者等を移送するシステムの円滑な運用を図る。
	比較増減	千円 △24, 479	相直芯仕寺を移込りのマハノAV/  1相は座用を囚る。
			2 精神科救急輪番病院確保事業費 171,164千円
			休日や平日夜間の診療時間外に精神科救急患者を受け入
			れる体制を整備するとともに、医療機関の輪番による受入
			体制を確保する。
			3 精神科救急医療相談窓口運営費 37,730 千円 警察官通報窓口及び精神科救急医療情報窓口を運営す
			る。

No.	事業	<b>美名</b>	事業内容
13	精神科看護職 (医療介護基金 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減		良質な看護サービスを提供するため、精神科看護に従事する看護職員を対象とした認知行動療法等の研修費用に対して補助する。
14	旧優生保護法一 談事業費 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	- 時金受付・相 - 千円 6,087 - 千円 8,229 - 千円 △2,142	「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」に基づき、一時金の支給に係る申請・相談窓口を設置し、更に幅広い周知・広報を行う。
15	相談指導等事業 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	千円 1,394 千円 1,535 千円 △141	精神保健福祉センターの機能の充実を図るため、相談事業、保健福祉事務所に対する技術援助、調査研究、酒害予防対策事業等を行う。  1 精神保健福祉センター診療等事業費 713 千円相談業務の充実を図るため診療を行う。  2 相談指導・酒害予防・調査研究事業費 681 千円酒害予防講演会や酒害相談員等の研修等を実施する。
16	かながわ自殺文 一事業費 3年度当初 予算額(案) 2年度当初 予算額 比較増減	十円 2,422 千円 3,612 千円 △1,190	精神保健福祉センター内に設置された「かながわ自殺対策 推進センター」において、市町村や民間団体などに対して、 地域の実情に応じた自殺対策情報を提供する。

No.	事業名		事業内容
1.7			1 《(京)》中华地区底7 ) (DDAT) (大川東) (忠古兴典 (国民)
17		づくり感染症対	1 災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備事業費(国庫)
	策費 		4, 173 千円
	3年度当初	千円	新型コロナウイルスの感染拡大に備えて、DPATを派遣
	予算額(案)	9, 998	できる体制を整え、大規模のクラスター感染等が起きた際
	2年度当初	千円	に、精神科治療を必要としている入院者の搬送や、医療体制
	予算額	_	の維持が困難となった精神科病院への緊急支援を行う。
	千円		
	比較増減	+9,998	2 新型コロナウイルス感染症こころのケア支援事業費
			5,825 千円
			新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、宿泊施設等
			で待機する軽症者等やり患患者を受入れる医療機関及び福祉
			施設等の従事者に生じる不安・ストレスを解消するための相
			談支援体制を整備する。

# スポーツ推進に向けた取組み

#### 1 目的

県の総合的なスポーツ推進拠点として整備し、令和2年7月21日に供用開始したスポーツセンター(藤沢市善行)における取組みや、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支える「かながわパラスポーツ」の取組みを通じて、更なるスポーツの推進を図る。

### **2 予算額** 1億1,391万円

3 事業内容 (単位:万円)

	主な事業の概要	予算額
スポー	ツセンターを活用した取組み	
① 生涯	Eを通じたスポーツによる未病の改善	
と能こ	スポーツによる未病改善実践事業費 スポーツによる未病改善を推進するため、スポーツセンター 大学等の専門機関との連携のもと、県民が自らの体力や運動 と力を把握し、未病改善に向けた効果的なスポーツ活動を行う とを総合的にサポートする「未病改善スポーツドック」を実 でする。	20
② 競技	支力向上とアスリートの育成支援 	
育紹	タレント発掘・育成事業費 東京2020大会後の継続的なスポーツ推進の観点から、神奈川 育ちのアスリートを早期かつ計画的に発掘・育成するため、神 経系の発達が著しく、動作習得に最適な時期とされる9歳~12 歳のゴールデンエイジを対象に、スポーツセンターにおいて運 動能力テストやタレント育成プログラム等を実施する。	44
   障   ア	スポーツ医科学・栄養サポート事業費 スポーツ医科学及び栄養学的側面から競技力向上やスポーツ 管害の予防を図るため、スポーツセンターにおいて、ジュニ イ・ユースアスリート等を対象にしたトレーニング指導や、食 手摂取や栄養バランスに関するセミナー等を実施する。	49
③ かな	ょがわパラスポーツの活動機会の拡大・理解促進 	
多的と	かながわパラスポーツ推進強化事業費 「かながわパラスポーツ」の更なる推進のため、スポーツセンターや特別支援学校の体育施設等を活用して、障がい者が日常内にスポーツに取り組めるよう、スポーツ教室等を開催するとされて、障がい者スポーツを支える人材の資質向上研修等を行	2, 60

主な事業の概要	予算額
(2) かながわパラスポーツの推進	
① かながわパラスポーツの普及推進	
ア かながわパラスポーツ推進事業費	
「かながわパラスポーツ」の普及推進のため、市町村や団体と 連携し、パラスポーツのミニ体験会の開催支援等を行うととも に、貸出用具の購入によりパラスポーツの環境整備を行う。	600
イ かながわパラスポーツ推進強化事業費(再掲)	
「かながわパラスポーツ」の更なる推進のため、スポーツセンターや特別支援学校の体育施設等を活用して、障がい者が日常的にスポーツに取り組めるよう、スポーツ教室等を開催する。	(2, 603)
② 障がい者スポーツの推進	
ア 障害者スポーツ普及推進事業費	
障がい者スポーツの普及推進を図るため、県障害者スポーツ大会を開催するとともに、全国障害者スポーツ大会及び関東ブロック大会への選手団の派遣等を実施する。	4, 862
イ 県精神障害者スポーツ大会開催事業費	
精神障がい者のスポーツ参加の機会拡充のため、精神障がい者 を対象としたスポーツ大会や普及啓発イベントを開催する。	429
ウ 障害者スポーツサポーター養成事業費	
障がい者スポーツの振興及び県民の障がい者スポーツに対する 理解促進を図るため、障害者スポーツサポーター養成講習会を開 催し、障がい者スポーツを支える人材を養成する。	167
③ 障がい者アスリートの支援	
ア 障害者アスリート支援事業費補助	
東京2020大会後の神奈川育ちの障がい者アスリートの継続的な 競技力向上のため、障がい者アスリートや指導者へ競技活動費の支 援を行う。	1, 587
(v) A z-h-o A 6611. z-2 \(\text{L} + \text{L} + \text{L} + \text{L} \(\text{L} \)	

(※)各表中の金額は、表示単位未満切捨てのため、合計と符号しない。



(未病改善スポーツドック)



(県障害者スポーツ大会 アーチェリー)

## 問合せ先

障害者スポーツグループ 電話 045-285-0798 (直通) FAX 045-662-5557

メール para-spo.cj99@pref.kanagawa.jp